

ISO 14001

規格改訂

要求事項(国際規格案)の

全体像

インター・テック・サーティフィケーション
認証部

今春改訂発行するISO 14001規格の要求事項ポイントについて紹介いたします。国際規格案(DIS=Draft International Standard)の情報ですが、認証移行準備に向けてご確認いただければ幸いです。

1 ISO 14001環境マネジメントシステム 要求事項の改訂概要

第一に、全体として世界、現社会が求めているサステナビリティ=持続可能性、そして、サプライチェーン、ライフサイクルの視点、これらを2015年版よりさらに強く要求しております。組織内のプロセスだけではなく、関係する前後の外部プロセスを含めた利害関係者との連携、さらに、組織の製品やサービスに至る、また、製品サービス提供の後を含めた各段階も考慮しながら運用することで、地域、社会全体、さらには世界、地球規模のサステナビリティ=持続可能性につながることを求めております。さらに、これらを含めたマネジメントシステムの運用目的実現への関与の重要性のためマネジメントレビュー箇条構成が改訂されております。そして、規格要求事項の箇条の新設、移動等となります。

今回の改訂発行は、過去大幅に改訂した2004年版から2015年版よりも表面上では改訂箇所は少なく、小さく見えますが、現社会が大きく求めている「サステナビリティ=持続可能性」を地球規模で実現していくうとする、意義的に大きな改訂と捉えていただきたいと、認証組織様には期待いたします。

特集

前号に引き続き、間もなく新版の発行が予定されているISO 14001環境マネジメントシステムの規格改訂について取り上げております。今号では、現行版との比較を交えながら、改訂に伴う要求事項の要点をご紹介いたします。前号と併せてご覧いただくことで、新版への移行準備の一助となれば存じます。

(編集部)

2

トップマネジメントに求められる 運用目的実現への「文化」の醸造

マネジメントシステムの運用目的実現への関与の重要性のためマネジメントレビュー箇条構成が改訂されることに関連し、箇条5.1リーダーシップ及びコミットメントでは、組織の環境責任をマネジメントするシステムに対し説明責任をトップマネジメントが保持することを要求しており、強い関与を求められております。さらに「トップマネジメントは、環境パフォーマンスの向上、順守義務を満たすこと及び環境目標の達成を含め、環境マネジメントシステムの意図した成果に寄与する活動に組織で働く人々、又は組織のために働く人々を参加させる『文化』を推進すること」を要求の意図としており、環境及び持続可能性の課題に対する行動を通じて、リーダーシップを実証し利害関係者との信頼関係を高めることを要求しております。

ISO 14001 環境マネジメントシステム改訂 - 発行情報 -

改訂版内容ポイント (DIS=Draft International Standard)

- ✓ サステナビリティ、サプライチェーン、ライフサイクル視点強化
- ✓ 環境配慮の取り組み強化
(汚染レベル、天然資源利用可能性、気候変動、生物多様性、生態系の健全性など)
- ✓ マネジメントレビューへの「インプット」、マネジメントレビューの「結果」(重要性)
- ✓ 「6.3 変更の計画と管理」の新設
- ✓ 箇条新設と移動
(「6.1.4 リスク及び機会」の新設により「6.1.1 一般」の一部が移動)
- ✓ 箇条新設と移動 (取組みの計画策定 6.1.4 ⇒ 6.1.5)

3 重要な認証移行準備に 向けて

認証組織様が認証を継続するためには、現在認証を受けている現2015年版から、最新版の2026年版へ認証を移行しなければなりません。そのためには「移行審査」を受けなければならず、準備に重要なことは現2015年版に適合している認証組織様のマネジメントシステムを、予定2026年版要求事項に適合するよう組織様自身で改訂することです。移行審査までに改訂したマネジメントシステムで運用し、運用実績を残すことが必要になります。

認証移行への準備詳細とスケジュールイメージ等をつかむ内容については、前号でご紹介しましたオンデマンド形式で開催の「ISO 14001:2026(予定)改訂準備セミナー」のご受講を推奨いたします。

※セミナー詳細・お申し込み等は、弊社ホームページをご参照ください。
https://ba.intertek-jpn.com/on_demand/?category=2

企業価値、組織の持続可能性を高め、さらに社会が求める世界的、地球レベルの持続可能性をつくりあげていくためにも、認証移行に向けてご準備をよろしくお願ひいたします。

ISO 14001:2015 と ISO 14001:2026 (予定:現DIS) 比較

ISO 14001:2015		ISO 14001:2026 (予定:現DIS)	
4 組織の状況		4 組織の状況	
4.1 組織及びその状況の理解		4.1 組織及びその状況の理解	
4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解		4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解	
4.3 環境マネジメントシステムの適用範囲の決定		4.3 環境マネジメントシステムの適用範囲の決定	
4.4 環境マネジメントシステム		4.4 環境マネジメントシステム	
5 リーダーシップ		5 リーダーシップ	
5.1 リーダーシップ及びコミットメント		5.1 リーダーシップ及びコミットメント	
5.2 環境方針		5.2 環境方針	
5.3 組織の役割、責任及び権限		5.3 組織の役割、責任及び権限	
6 計画		6 計画	
6.1 リスク及び機会への取組み		6.1 リスク及び機会への取組み	
6.1.1 一般		6.1.1 一般	
6.1.2 環境側面		6.1.2 環境側面	
6.1.3 順守義務		6.1.3 順守義務	
6.1.4 取組みの計画策定		6.1.4 リスクと機会《新設》	
6.2 環境目標及びそれを達成するための計画策定		6.1.5 取組みの計画策定《移動》	
6.2.1 環境目標		6.2 環境目標及びそれを達成するための計画策定	
6.2.2 環境目標を達成するための取組みの計画策定		6.2.1 環境目標	
7 支援		6.2.2 環境目標を達成するための取組みの計画策定	
7.1 資源		6.3 変更の計画と管理《新設》	
7.2 力量		7 支援	
7.3 認識		7.1 資源	
7.4 コミュニケーション		7.2 力量	
7.4.1 一般		7.3 認識	
7.4.2 内部コミュニケーション		7.4 コミュニケーション	
7.4.3 外部コミュニケーション		7.4.1 一般	
7.5 文書化した情報		7.4.2 内部コミュニケーション	
7.5.1 一般		7.4.3 外部コミュニケーション	
7.5.2 作成及び更新		7.5 文書化した情報	
7.5.3 文書化した情報の管理		7.5.1 一般	
8 運用		7.5.2 文書化した情報の作成及び更新	
8.1 運用の計画及び管理		7.5.3 文書化した情報の管理	
8.2 緊急事態への準備及び対応		8 運用	
9 パフォーマンス評価		8.1 運用の計画及び管理	
9.1 監視、測定、分析及び評価		8.2 緊急事態への準備及び対応	
9.1.1 一般		9 パフォーマンス評価	
9.1.2 順守評価		9.1 監視、測定、分析及び評価	
9.2 内部監査		9.1.1 一般	
9.2.1 一般		9.1.2 順守評価	
9.2.2 内部監査プログラム		9.2 内部監査	
9.3 マネジメントレビュー		9.2.1 一般	
10 改善		9.2.2 内部監査プログラム	
10.1 一般		9.3 マネジメントレビュー	
10.2 不適合及び是正措置		9.3.1 一般	
10.3 繼続的改善		9.3.2 マネジメントレビューへのインプット	
		9.3.3 マネジメントレビューの結果	
		10 改善	
		10.1 繼続的改善	
		10.2 不適合及び是正措置	

【お問い合わせ】

特集内容に関するご質問・ご不明な点等ございましたら、東京事務所 ISO認証部までお問い合わせください。

ISO認証部 Email:cert-scheme.japan@intertek.com

INFORMATION ～セミナー情報～

関連セミナーも順次開催しております。

◆ ISO 14001:2026(予定) 認証移行に向けて 環境マネジメントシステム改訂規格(案:DIS)セミナー 《オンデマンド》

【概要】

本セミナーではISO 14001の改訂規格案「要求事項全体の理解」から、現2015年版から予定である2026年版への認証移行の準備につなげることを目的としております。また、参考として2026年後半改訂発行予定のISO 9001の進捗情報もふれさせていただきます。

【内容】

- ISO 14001環境マネジメントシステム規格改訂発行情報
- ISO 14001:2026(予定)改訂規格(案:DIS)要求事項「各箇条要求事項の改訂部分と解説」
- 認証移行へ 移行審査の必要性と準備

※セミナー詳細・お申し込み等は、弊社ホームページをご参照ください。
https://ba.intertek-jpn.com/on_demand/?category=2